

高潮浸水想定区域等について

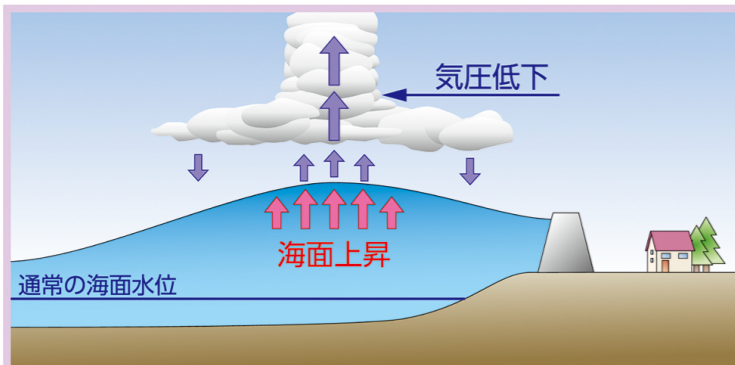
背景と経緯

高潮に対する避難体制等の充実を図るため、平成27年5月に水防法が改正され、想定し得る最大規模の高潮に係る浸水想定区域を公表する制度が新たに創設されました。

神奈川県は、先行的にこの制度に着手し、令和3年5月28日、相模灘沿岸における高潮浸水想定区域の指定及び高潮特別警戒水位を設定しました。（一部の区域を令和3年8月に修正しています。）

高潮とは

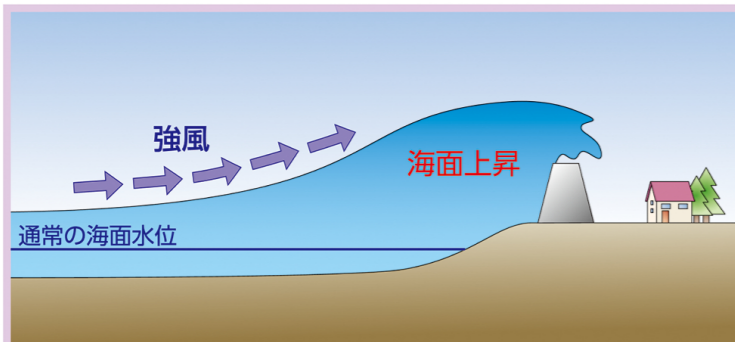
高潮は、台風や発達した低気圧などに伴い海面が異常に上昇する現象です。高潮が発生すると海水が海岸堤防等を超え一気に浸水の危険があります。また高波が加わるとさらに浸水の危険度が増します。台風情報や高潮警報を確認し、安全に行動できるうちに避難することが大切です。



1 気圧低下による吸い上げ効果

台風や低気圧の中心気圧は周辺より低い
ため、周囲の空気は海面をおしつけ、中心付
近の空気が海面を吸い上げるように作用す
る結果、海面が上昇します。

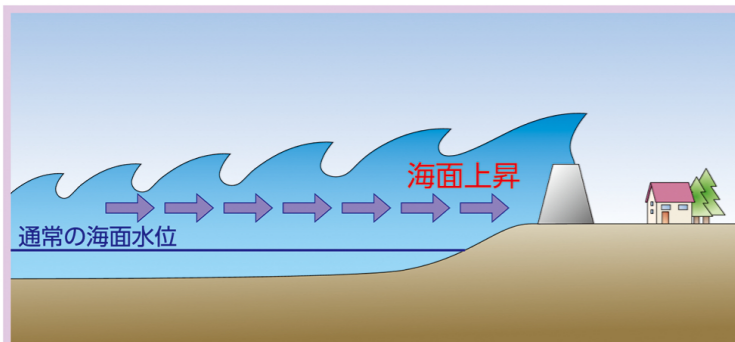
気圧が1ヘクトパスカル(hPa)低くなると、
海面は約1cm上昇します。



2 風による吹き寄せ効果

台風に伴う強い風が沖から海岸に向かっ
て吹くと、海水は海岸に吹き寄せられ、海岸
付近の海面が異常に上昇します。

水深が浅いほど、風の吹き寄せ作用がよく
働き、高潮が発達しやすくなります。



3 波浪による海面上昇

波が海岸に近づいて砕けると、多量の海
水が岸に運ばれ、沖に急速に戻ることがで
きず、岸側に溜まるようになり、海面が上
昇することになります。波が大きいほど、
波浪による海面上昇も大きくなります。

高潮情報

高潮特別警戒水位とは

高潮特別警戒水位とは、切迫する高潮氾濫の発生を警戒すべき水位であり、緊急的に屋内の上階や近隣の高い建物など安全な場所への避難（緊急安全確保）を行う目安となる水位です。

大磯町の高潮特別警戒水位はT.P.*+1.20m(小田原検潮所)

高潮により潮位(海面の水位)が上昇

基礎観測所である小田原検潮所(気象庁)
の潮位(海面の潮位)が高潮特別警戒水位
(大磯町の場合は、T.P.+1.20mの到達)

「高潮氾濫発生情報」(警戒レベル5相当)を発表



湯河原町～藤沢市
T.P.*+1.20m
(小田原検潮所)
小田原検潮所(気象庁)

小田原検潮所の位置

※T.P.: 東京湾平均海面

高潮と津波の違い

高潮と津波は、発生原因が違うため、波長(波の周期)や特徴が異なります。

高潮とは?

【発生原因】
主に低気圧の発達による強い風

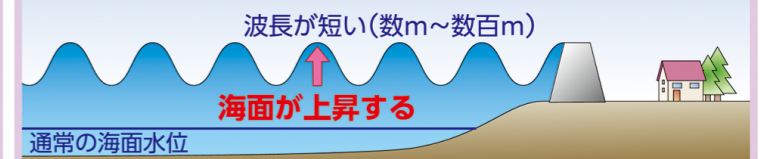
【特徴】
一度堤防を越えると広範囲が水没
しやすい
長時間続いて被害が拡大する

【注意点】
満潮のタイミングと重なると、潮位がさら
に上昇し被害が拡大する恐れがある
洪水のタイミングと重なると、河川沿い
を中心に浸水が拡大する恐れがある



台風や発達した低気圧による高潮

津波と高さと同じでも、波浪は波長が短い
ため一つの波により加わる力は小さく沿
岸で砕け散る

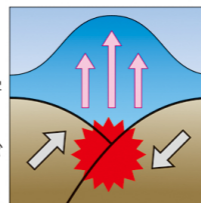


津波とは?

【発生原因】
海底地震による地殻変動

【特徴】
波の高さが低くても強力
大抵は1度だけで終わらず、複数回押し寄
せる

【注意点】
河川でも遡上し増水して氾濫する恐れが
ある
津波が引き返す際に、引き波にさらわれ
沖合へ流される恐れがある



地震による津波

巨大な水の壁となって長時間力が加わる
陸上のものを破壊しながら、
内陸まで一気に浸水する

